

単 独

2023年度施行

見積用

## 町道施設予防保全工事（緊自債） 実施設計書

---

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

中頓別町



## 積 算 情 報

設 計 書 番 号	23-16-D0-0002-0	設 計 者 名	
出 張 所 名	中頓別町		
適 用 単 価	一般土木		
入 札 日 ( 開 札 日 )	2023年 7月11日		
歩 掛 適 用 年 月	2023年 7月11日		
単 価 適 用 年 月	2023年 7月11日		
適用単価 地 区	生        コ        ン	H04:浜頓別・中頓別	
	合                    材	H02:南宗谷	
	石                    材	H08:中頓別	
	港    湾    石    材		
	燃                    料	H00:稚内建設管理部	
適 用 工 種	舗装工事		

積算時想定工事期間	2023年 7月12日 ~ 2023年12月11日 (153日)		
工期の設定	通常工期	実施工期：153日	完成期限： 2023年12月11日
冬期労務補正	2023年 7月 ~ 2023年12月	冬期労務補正：なし	時間的制約：時間的制約無し

2023/06/13 13:45:24

## 工事概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
道路予防保全（舗装）	中頓別町字豊平	町道稚宇遠原野線	

費 目	本工事費	町道施設予防保全工事（緊自債）
-----	------	-----------------

工 事 概 要	No	当 初	変 更
	1	工事延長 L=170m	
	2	舗装工 1 式	
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		

## 諸経費情報

共通仮設費	I C T 補正	しない
	週休 2 日制の補正	しない
	主たる工種	0 6 : 舗装工事
	施工地域補正	山間僻地及び離島
現場環境改善費	除雪工事補正	補正無
	計上の有無	しない
	市街地補正	市街地以外
現場管理費	施工地域補正	山間僻地及び離島
	緊急工事補正	しない
	砂防・地滑り工事補正	しない
工期延長等に伴う現場維持費	計上の有無	しない
	施工地域補正	山間僻地及び離島
	工期延長等日数	0日
	延長期間最終日の基準年月	2022/10
一般管理費等	財団法人等の補正	しない
	前払金割合による補正	3 5 %を超えるもの
	契約保証に係る補正	

## 設計内訳書

工事名	町道施設予防保全工事（緊急償）	当 初	事業区分	道路新設・改築		主たる工種	舗装工事		
			工事区分	舗装		施工地域	山間僻地及び離島		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
舗装			式	1					
舗装工			式	1					
舗装準備工			式	1					
不陸整正		有り各種49mm以上55mm未満 【切込碎石   0 ～ 4 0 mm 】	m2	510					単-1号 概数
アスファルト舗装工			式	1					
表層（車道・路肩部）		再生密粒度アスコン(13)40mm3.0m超 【再生密粒度アスファルト混合物   1 3 F A s 量 5 . 5 ～ 6 . 3 % 率 2 0 % 車道用、装甲路肩用 】	m2	510					単-2号 概数
直接工事費			式	1					
共通仮設費			式	1					
共通仮設費（率計上）			式	1					
純工事費			式	1					

## 設計内訳書

工事名	町道施設予防保全工事（緊自債）	当 初	事業区分	道路新設・改築		主たる工種	舗装工事		
			工事区分	共通仮設費		施工地域	山間僻地及び離島		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場管理費			式	1					
工事原価			式	1					
一般管理費等			式	1					
工事価格			式	1					
消費税相当額			式	1					
工事費計			式	1					

## 工場管理費

1	間接労務費対象額 管理費区分 7		
2	間接労務費率		
3	間接労務費計上額		
4	工場管理費 工場純工事費		
5	非対象額計 ( - )		管理費区分 5 , 9
6	工場管理費対象額		
7	工場管理費率		
8	工場管理費計上額		



## 共通仮設費

1	主たる工種 単独（当該工事）	舗装工事	
2	主たる工種 合算工事		
3	対象工事費		
4	直接工事費		
5	準備費（処分費）		
6	事業損失防止施設費		
7	対象工事費に含まれる処分費 単独（追加工事）		
8	現工事		
9	合算工事		
10	非対象額計（ - ）		
11	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
12	管理費区分 2 , 7		工場原価
13	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
14	管理費区分 9		間接費非対象額
15	管理費区分 T		全処分費のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額
16	対象額支給品（ + ）		
17	無償貸付機械評価額（ + ）		
18	共通仮設費対象額 単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	処分費等を除く共通仮設費対象額 単独（追加工事）		調整工事入力で使用
22	現工事		
23	合算工事		
24	共通仮設費（率分） 率（補正前） 単独（追加工事）		
25	現工事		
26	合算工事		
27	施工地域等補正 単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
28	現工事		
29	共通仮設費（率分） 率（補正後）		
30	計上額 単独（追加工事）		
31	現工事		
32	合算工事		
33	調整工事計上額		

## 共通仮設費

34	現場環境改善費対象工事費		
35	直接工事費		
36	非対象額計 ( - )		
37	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
38	管理費区分 2 , 7		工場原価
39	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
40	管理費区分 9		間接費非対象額
41	管理費区分 T		
42	対象額支給品 ( + )		
43	無償貸付機械評価額 ( + )		
44	現場環境改善費対象額 ( P i ) 単独 ( 追加工事 )		
45	現工事		
46	合算工事		
47	現場環境改善費 率 ( 補正前 ) 単独 ( 追加工事 )		
48	現工事		
49	合算工事		
50	施工地域等補正 単独 ( 追加工事 )		
51	現工事		
52	現場環境改善費 率 ( 補正後 )		
53	計上額 単独 ( 追加工事 )		
54	現工事		
55	合算工事		
56	調整工事計上額		
57	共通仮設費 ( 積上分 )		
58	運搬費		
59	準備費・仮設費		
60	事業損失防止施設費		
61	安全費		
62	役務費		
63	技術管理費		
64	営繕費		
65	現場環境改善費		
66	共通仮設費計		

## 現場管理費

1	主たる工種	舗装工事	
2	単独（追加工事）純工事費		
3	単独（追加工事）直接工事費		
4	単独（追加工事）共通仮設費		
5	非対象額計（－）		
6	管理費区分 2 , 7		工場原価
7	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
8	管理費区分 9		間接費非対象額
9	管理費区分 T		全処分費のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額
10	対象額支給品（＋）		
11	無償貸付機械評価額（＋）		
12	現場管理費対象純工事費 単独（追加工事）		
13	現工事		
14	合算工事		
15	処分費等を除く 現場管理費対象純工事費		調整工事入力で使用
16	現工事		
17	合算工事		
18	率（補正前） 単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	施工地域等補正 単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
22	現工事		
23	施工時期補正		
24	緊急工事補正		
25	真夏日補正		
26	砂防・地すべり補正 単独（追加工事）		
27	現工事		
28	率（補正後）		
29	計上額 単独（追加工事）		
30	現工事		
31	合算工事		
32	調整工事計上額		

# 一般管理費等

事務所名 中頓別町建設課(土木担当)

工事番号

第 回変更

発注年月

契約区分

主工種

舗装工事

1	工事原価		
2	純工事費		
3	現場管理費		
4	工期延長等に伴う現場維持費		
5	工場製作原価		
6	非対象額計 ( - )		
7	管理費区分 9		支給品を除く間接費非対象額
8	管理費区分 T		全処分費のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額
9	一般管理費等対象工事原価 単独 ( 追加工事 )		
10	現工事		
11	合算工事		
12	処分費等を除く 一般管理費等対象工事原価		調整工事入力で使用
13	現工事		
14	合算工事		
15	率 ( 補正前 ) 単独 ( 追加工事 )		
16	現工事		
17	合算工事		
18	前払金支出割合による補正係数 単独 ( 追加工事 )		
19	現工事		
20	財団法人等による補正係数 単独 ( 追加工事 )		
21	現工事		
22	契約保証に係る一般管理費等対象工事原価 ( 当初設計 )		
23	契約保証に係る補正值 単独 ( 追加工事 )		
24	一般管理費等 率 ( 補正後 )		
25	計上額 単独 ( 追加工事 )		
26	現工事		
27	合算工事		
28	調整工事計上額		

## 処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額

表示されている数量・単価・金額は入力参考値

### 処分費内諸経費対象額・算出根拠（一般管理費等算出用通常設計書）

P：共通仮設費対象額（処分費算出用） (直接工事費計＋支給品＋事業損失防止施設費＋無償貸付機械等評価額＋共通仮設費対象外額＋その他対象額)	
W：処分費等の占める割合 $W = S / (P + Q)$	
S t：Wが3%相当の処分費等の価格（W＞3%の場合） $S t = (P + Q) \times 3\%$	

S：処分費等の価格	Pに含まれる処分費等	Q：準備費に含まれる処分費等

#### 処分費内諸経費対象額・算出区分

A	「W 3%」かつ 「S 30,000,000」のとき	処分費等（S）の全額を率計算の対象とする
B	「W 3%」かつ 「S > 30,000,000」のとき	処分費等の率計算の対象は3千万円とする
C	「W > 3%」のとき	（S t）を率計算の対象とする。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする

算出区分	処分費に占める諸経費対象額	処分費に占める諸経費対象外額

内訳書 < データ無し >

							単価適用年月 歩掛適用年月 労務調整-超過-規制	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

## 1次単価表

単-1号

単価適用年月	20230711
歩掛適用年月	20230711
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	不陸整正				単位	m2	数量	1	単価	
規格	有り各種49mm以上55mm未満【切込碎石   0 ~ 4 0 mm 】									
名称		規格 / 条件		単位	数量	単価		金額		摘要
不陸整正		補足材料の有無 = 有り：補足材料平均厚さ = 49mm以上55mm未満：補足材料 = 補足材料（各種）：費用の内訳 = 全ての費用：【切込碎石   0 ~ 4 0 mm 】		m 2	1					CB410010 管理費区分 無 単-3号
計										
単価										

單價適用年月	20230711
步掛適用年月	20230711
勞務調整-超過-規制	1.000-00000020

- 2 -



単-3号

CB410010

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単価適用年月	20230711
歩掛適用年月	20230711
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	不陸整正				単位	m 2	数量		単価	
規格	有り 49mm以上55mm未満 補足材料（各種） 全ての費用				単位			1		
名称		規格 / 条件		単位	構成比率	標準単価		単価		摘要
標準単価										
労務構成比率				%						
運転手（特殊）		割増対象賃金比 0.796		%						R0114 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員		割増対象賃金比 0.784		%						R0101 管理費区分 無 二省労務単価
普通作業員		割増対象賃金比 0.852		%						R0102 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役		割増対象賃金比 0.772		%						R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率				%						
切込碎石		0 ～ 4 0 mm		%						ZHD0045000 管理費区分 無 地方資材単価
軽油		1 . 2 号 ミニローリー渡し		%						Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率				%						
モータグレーダ〔土工用・排ガス対策型（第2次）〕		ブレード幅 3 . 1 m		%						M000701015 管理費区分 無

單價適用年月	20230711
步掛適用年月	20230711
勞務調整-超過-規制	1.000-00000020

- 4 -

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-4号

CB410260

単価適用年月	20230711
歩掛適用年月	20230711
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
表層(車道・路肩部)	3.0m超 40mm 再生密粒度アスコン(13) プライムコート PK-3 全ての費用	m <sup>2</sup>			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比 0.852	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比 0.784	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
運転手(特殊)	割増対象賃金比 0.796	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.772	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
再生密粒度アスファルト混合物	13F As量5.5~6.3% 率20% 車道用、装甲路肩用	%				ZHD0620200 管理費区分 無 地方資材単価
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%				Z004130002 管理費区分 無 刊行物単価
軽油	1.2号 ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				

单-4号 CB410260

## 参考資料(1) (施工パッケージ)

單價適用年月	20230711
步掛適用年月	20230711
勞務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	表層（車道・路肩部）					単位	m 2	数量	1	単価	
規格	3.0m超 40mm 再生密粒度アスコン（１３） プライムコート PK-3 全ての費用										
名称		規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価		単価		摘要		
アスファルトフィニッシャ		[ ホイール型 ] 舗装幅 2 . 3 ~ 6 . 0 m 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%						L001210002 管理費区分 無 刊行物単価		
タイヤロー[普通型]		運転質量8～20t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%						L001060003 管理費区分 無 刊行物単価		
ロードロー[マカダム]		運転質量10～12t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%						L001050002 管理費区分 無 刊行物単価		

## 登録単価＜データ無し＞

[illegible]

個人用損料＜データ無し＞

工事番号		工事名	町道施設予防保全工事（緊自債）						
コード	名称		規格	単位	区分	単価	登録年度	登録月	備考

単 独

# 設 計 図 書

( 特記仕様書・位置図・工事数量総括表 )

2023 年度施行

町道施設予防保全工事 ( 緊自債 )

---

中頓別町

特 記 仕 様 書



## 特記仕様書

- 20 一般事項  
01 適用  
01 共通仕様書  
当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。
- 02 土木工事積算基準等  
1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。  
(1) 一般土木工事  
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」  
(2) 漁港工事  
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」  
(3) 下水道工事  
「土木工事積算要領（下水道編）」、「土木工事積算基準」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」  
  
2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。  
(1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。  
(2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。  
(3) 上記(1)(2)については、受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。  
  
3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。  
  
4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。  
(1) 一般土木工事  
「土木工事数量算出要領」  
(2) 漁港工事  
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」  
(3) 下水道工事  
「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
- 03 概数  
1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項の施工に当たっては、施工後でなければ数量の確認ができない場合を除き、現地調査終了後速やかに工事監督員と協議し、数量の確定を行い着手すること。

## 特記仕様書

- 2 概数の確定により数量の変更が生じた場合には、設計変更により処理する。  
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- 3 「概数として扱う数量一覧表」で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱う場合がある。
- 4 当該工事において、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある。
- 5 当該工事は、現地測量を行った結果に基づき工事監督員と協議して数量を確定する。  
なお、概数の確定後、工事に着手すること。
- 6 当該工事のうち交通誘導警備員数は、受注者より提出された工程管理（ネットワーク等）を基に工事監督員と協議して数量を確定する。

04 非契約数量  
工事数量総括表の単位及び数量が（ ）で表記されている数量（摘要を含む）は、契約事項とならない数量である。  
ただし、契約数量に連動して概数の確定や現場条件変更等が生じた場合には、必要に応じて設計変更する。

11 熱中症対策  
この工事においては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正（試行）」を行うことができる。  
当該補正を実施するかどうかは、入札後、発注者と受注者が協議の上、決定する。

27 建設副産物・廃棄物関係  
02 再生資材等の利用  
01 再生アスファルト混合物の使用  
当該工事における再生アスファルト混合物の使用については、次のとおりとする。  
1 再生密粒度アスファルト混合物：SP3600からSP3770 表層

30 その他  
19 その他  
01 設計図書に明示のない取扱い

設計図書に定めのない事象が生じた場合は、工事監督員と別途協議をすることとし、必要に応じて設計変更を行う。

## 特 記 仕 様 書

- 01 1 施工条件明示
- ・当該工事は、施工箇所を含めて概数としているため、落札後監督員と協議を行い、施工箇所を決定すること。

## 概数として扱う数量一覧表

		工事名	町道施設予防保全工事（緊急自償）			当初	事業区分	道路新設・改築	
							工事区分	舗装	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
舗装				式		1			
舗装工				式		1			
舗装準備工				式		1			
不陸整正			有り各種49mm以上55mm未満	m2		510		概数	
アスファルト舗装工				式		1			
表層(車道・路肩部)			再生密粒度アスコン(13)40mm3.0m超	m2		510		概数	

位

置

図

# 位置図

工事名	町道施設予防保全工事（緊急償）					
施工箇所	中頓別町字豊平					
範囲	起 点	北緯	東経	終 点	北緯	東経

※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。

※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です

<凡例>

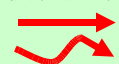
旗揚線

施工箇所

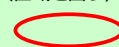
施工箇所

施工箇所塗り

・ 起点を示せる工事  
（矢印の先が終点）



・ 起点を示せない工事  
（区域を囲う）



建設副産物の仮置箇所

● 建設副産物の仮置場

残土処理場箇所・仮置箇所

△○○場箇所

土取場箇所・発生土受渡箇所

▲○○場箇所

その他指定する箇所（仮設ヤード等）

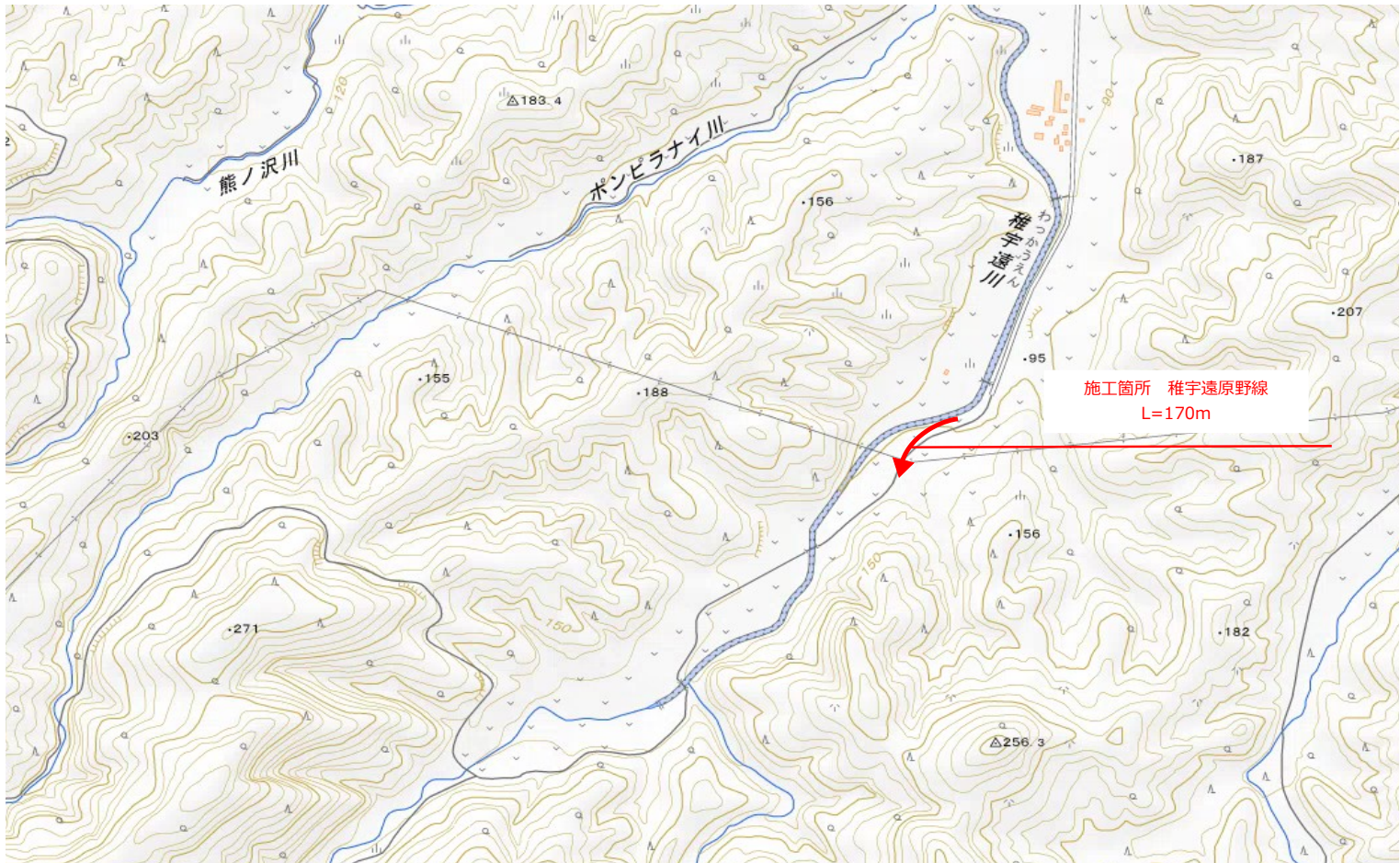
□○○場箇所

輸送起点等

■○○起点

表示情報（表示している情報は■）

- ☐ 施工箇所・施工範囲
- ☐ 建設副産物の仮置箇所
- ☐ 残土処理場
- ☐ 仮置場
- ☐ 土取場
- ☐ 発生土受渡箇所
- ☐ 輸送起点箇所
- ☐ その他



備 考

## 工 事 数 量 総 括 表

工事名            町道施設予防保全工事（緊自債）

中頓別町建設課(土木担当)

## 工事数量総括表

		工事名	町道施設予防保全工事（緊自債）			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
							工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
舗装				式		1				
舗装工				式		1				
舗装準備工				式		1				
不陸整正			有り各種49mm以上55mm未満 【切込碎石   0 ~ 4 0 m m 】	m2		510		< 1 m2当たり > 不陸整正	m 2	1
アスファルト舗装工				式		1				
表層(車道・路肩部)			再生密粒度アスコン(13)40mm3.0m超 【再生密粒度アスファルト混合物   1 3 F A s 量 5 . 5 ~ 6 . 3 % 率 2 0 % 車道用、装甲路肩用 】	m2		510		< 1 m2当たり > 表層（車道・路肩部）	m 2	1
直接工事費				式		1				
共通仮設費				式		1				
共通仮設費（率計上）				式		1				
純工事費				式		1				



## 工事数量総括表

		工事名	町道施設予防保全工事（緊自債）			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
							工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件		単位	数量
現場管理費			式		1					
工事原価			式		1					
一般管理費等			式		1					
工事価格			式		1					
消費税相当額			式		1					
工事費計			式		1					

## 集計リスト（材料）

	工事名	町道施設予防保全工事（緊自償）	当 初	工事区分	道路新設・改築		
				集計区分	材料		
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZHD0045000	切込碎石	0 ～ 4 0 mm	m 3				地方資材単価
				33.715			
Z006702002	軽油	1 . 2 号 ミニローリー渡し	L				刊行物単価
				64.798			
ZHD0620200	再生密粒度アスファルト混合物	1 3 F A s 量 5 . 5 ～ 6 . 3 % 率 2 0 % 車道用、装甲路肩用	t				グリーン 地方資材単価
				1.283			
Z004130002	アスファルト乳剤	P K - 3 プライムコート用	L				刊行物単価
				641.93			
ZZ000001	その他（材料）		式				
				1			

- 1 -